

ぐっとGOOD 身近な ふくしの情報お届け便

さんだ
社協だより

2022年
5月号

[第415号]



特集

身近な地域の暮らしを支えます

～子育て支援は地域みんなで～

※詳しくは P4～P5 をご覧ください。

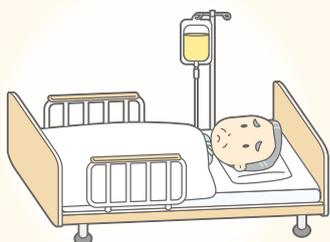
身近な地域の暮らしを支えます

生きづらさに寄り添う
相談支援

身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、難病など、それぞれの特徴において、暮らしていくなかでの不便さや不自由さ、大変さは、環境のあり方や仕組みがつくり出す「障害」であるといわれています。環境や仕組みによる生きづらさを解消していくために、制度や地域のつながりを取り入れながら、「地域で暮らし続ける」ことを支える相談窓口についてご紹介します。

事例 1

父親が入院することに！2人暮らしのAさん(48歳) 「この先の生活を見据えて」



父親が入院！



兄弟より相談



自宅に訪問

知的障害のあるAさん。長年一緒に暮らしていた父親が突然2か月の入院をすることになりました。これまで父親が家事をほぼ担っていたので、Aさんはたちまち食事やゴミ出しに困りました。また、Aさんは、学校を卒業後環境になじめず、仕事を続けることができなくなり、今は父親の年金で暮らしています。将来父親が亡くなった後のことを、遠方の兄弟が心配されて、「障害者生活支援センター」の窓口につながりました。相談員がご自宅を訪問しAさんに直接出会い、今後の生活をAさんと一緒に考えていくことになりました。また、自立生活に向けた方法が学べ、仲間づくりにつながるプログラム（ピアサロン）にも参加される予定です。



今後の生活について
一緒に検討



日中の活動に参加
(就労準備支援など)



生活を支える
制度の活用

障害者総合相談窓口
「きいてネット」

基幹相談支援センター、精神障害者支援センター、就業支援センター、障害者生活支援センターの4つの相談支援機関が、相談者と一緒に困りごとや希望について考えます。

<お問い合わせ> TEL：079-559-5205 FAX：079-559-5214

事例 2

Bさん家族が笑顔でいられるように「気づきをつないで」



介護が必要な B さん



家族の介護の負担が
大きくなってきた…



家族の負担を
デイサービス職員が気づく！

Bさんは生まれつき体に麻痺があり、ひとりでの身動きがうまくできず、常に介護が必要です。日中はデイサービスで過ごしていますが、デイサービスに出かけるまでの着替えや部屋から玄関先までの移動など、体力的にも負担が大きくなっている両親の様子に、デイサービスの職員が気づきました。

「障害者生活支援センター」の窓口で相談があり、相談員とともにご家族の介護負担について話し合い、サービスの利用を提案しました。今ではホームヘルパーに着替えや移動のサポートをお願いすることができ、両親も笑顔で見送りができるようになりました。



関係機関で
支援について検討



デイサービスの
送り出しにヘルパーを！



住み慣れた家で
暮らし続けられる支援！

当会では、事例で紹介した相談支援や関連プログラムの他に、施設団体等連絡会や市自立支援協議会への参画、セルフヘルプグループ（同じ生きづらさを抱えた方同士の自主的なつながりの場）のサポートなども行っています。

また、以下の介護サービスや相談事業も実施しており、ご本人やご家族との関わりからの「気づき」や思いの実現に向けて「つなぐ」を大切にしています。

- 障害者生活支援センター（相談支援）
- 身体障害者デイサービス（生活介護）
- 中央ホームヘルプステーション（居宅介護、同行援護、行動援護、移動支援）
- 訪問看護ステーション
- 権利擁護・成年後見支援センター（日常生活自立支援事業等） など

子育て支援は地域みんな

少子化や核家族化、さらにコロナ禍による全体で応援するため、子育ての負担軽減

事例 1

「出産前後のお手伝い」

- お母さんになったから「頑張らなきゃ」と思ってたけど、しんどいときがあって家事等を少し手伝ってもらえたら…
- これからの不安を聞いてもらいたい…

養育支援訪問事業 さんだっ子幸せ・夢サポーター

育児や洗濯・料理・掃除などの日常欠かせない家事などを手伝ってもらいます。

夢サポーターを利用 Mさん

産後に電話で利用相談をしました。Kさんに子どものこと、家事をサポートしてもらい、とても助かっています。栄養満点の食事を家族で美味しくいただいています。

笑顔～笑顔のわかち合い～ 一緒に子育て

市内在住で、すべての講座受講を修了した方が登録できます。

夢サポーター Kさん

何より子どもさんたちの笑顔に癒されて活動しています。子育てを頑張っておられるお母さん、お父さんにほっと一息つける時間を提供できたらいいなと思っています。養成講座(P8参照)を受講して、私にもできるかなと思えて、今に至っています。

出産後間もない時期や家庭の事情などにより、育児や家事が困難な家庭に、「さんだっ子幸せ・夢サポーター」を派遣します。地域での子育て支援活動を進める事業です。

利用料 1時間 1,000円～(1日2時間2回まで) ※利用条件あり、多胎児の利用補助あり



地域みんなです
ドレミふ



気軽な居場所「ペアちる」

ひとり親の方同士つながりづくりをねらいに、定期的に気軽に立ち寄

一人ひとりのつながりが希薄化する中、次代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会が支えたり安心して子育てができる取り組みをすすめています。



子育て支援 あみりー



「子どもの習いごとへの送迎などをお手伝い」

事例 2

- 仕事をしているので習いごとの送迎ができない…
- 祖父母が近くにいないので急な用事の際に子どもだけになってしまう…

さんだファミリーサポートセンター

依頼会員 Sさん

Aさんは、お友だちとしてご好意で送り迎えをしてくださっていたのですが、回数が増えたこともあり、ファミリーサポートセンターへの登録をお願いしました。信頼できるお友だちに子どもをお願いすることができてとてもうれしく思っています。

～思いやりのキャッチボール～相互援助

協力会員 Aさん

私の子どもと習いごとが一緒なので、友だちとしてSさんのお子さんを一緒に送っていました。お母さまは、度々お礼の品をくださりとても気を遣われるので、私がファミリーサポートセンターの協力会員に登録して送迎や預かりをするようになりました。センターが間に入ることでお互いの気持ちが楽になったと思います。

「子育ての応援をしてほしい」「子育ての応援をしたい」という人が依頼・協力・両方のいずれかの会員に登録し、お互いに助け合いながら地域の中で育児の相互援助活動を行う会員制のしくみです。

援助活動の謝礼 子ども一人1時間 800円～

- 保育施設、児童クラブ等終了後の預かり
- 習いごとへの送迎
- 保護者の買い物や急用の際の預かり
- その他援助が必要な場合

寄り、つながり・支えあえる居場所を開催しています。

09-559-8996 FAX : 079-562-8424



様々な参加の「カタチ」で、誰かの力に!!

住民の皆さまと行う当会の活動は、「誰もが住み慣れた地域で安心して、生きがいを持って生活できるまち」の実現に向けての取り組みです。一方で、世の中ではさまざまな出来事が起こっています。コロナ禍による経済的な影響や、虐待、ひきこもり、子どもの貧困など、人それぞれに生きづらさを抱える現状があります。

「一人で思い悩んでいる人に相談できる窓口のあることを知ってほしい」、「困っている人を助けたい」…福祉の相談窓口やサービス情報を必要な人に伝えること、そして暮らしやすいまちづくりには、住民の皆さま、企業や団体、事業所など多くの方々の参加が必要です。

「社協会費」・「善意銀行」の取りくみ

みんなの応援が三田の福祉をつくる▶『社協会費』

一般会員（世帯対象）	1世帯 200円
賛助会員（個人対象）	1口 1,000円
特別会員（法人等対象）	1口 5,000円

社会福祉協議会の活動にご賛同いただける方（社協サポーター）を募っています。

～社協の広報活動～

「困った時には社協に相談！」

▶▶▶ 相談窓口の情報が届くよう、様々な媒体で発信

「こんな活動に自分も関わりたい！」

▶▶▶ 地域活動・ボランティア活動情報の魅力をタイムリーに発信

皆さまからの会費によって、様々なツールを活用し社協活動（三田の福祉）をお伝えしています。

- * Good^{ぐっど} 身近なふくしの情報お届け便（奇数月発行・全戸配布）
- * ホームページ ※今年度内にリニューアル
- * SNS（Facebook、LINE など）
- * 出張ふくし教室
- * 社会福祉大会 など



facebook 随時更新！地域の活動をいち早く▶



みんなの寄付(預託)がサポートの必要な人のために▶『三田市善意銀行』

金銭 預託	<ul style="list-style-type: none"> ● 内祝いや粗供養、香典返しや満中陰志に代えて ● バザーやイベントの収益金、企業の社会貢献活動の一環として ● 公共施設や量販店等、市内約 100 か所に設置している「善意の箱」へ ● クラウドファンディングへの参加 	
物品 預託	<ul style="list-style-type: none"> ● 未使用のタオル、肌着、ふきとり布 ● 介護用品 (未開封の紙オムツ等) ● 福祉用具 (新品の車いす等) <p>* 物品の種類や状態によってはお預かりできない場合があります</p>	



- ▶ 小学生、中学生の修学旅行の一部助成 (就学援助等を受けている世帯)
- ▶ こども食堂や学習支援等の活動を支援
- ▶ 子育てグループへの活動支援
- ▶ ひとり親家族のグループ化を支援
- ▶ 生活困窮者への緊急援助
- ▶ 共生社会推進事業
- ▶ さっちゃんのまごころお福分けネットワーク

善意銀行に預託していただいた財源は、特に三田の未来を担うこどもたちのために、今年度も活用させていただきます。



(三田市社協 Facebook 掲載写真より)

参加の形いろいろ

令和3年度赤い羽根共同募金 募金百貨店プロジェクトのご報告

赤い羽根共同募金は急速に進行する高齢化への取り組みの貴重な財源となっています。

昨年度 12 事業所で行われた寄付付き商品の販売により計 **110,568 円**ものご協力をいただきました。これをふまえ令和3年度赤い羽根共同募金の最終実績は **7,532,176 円**になりました。

ご協力いただいたみなさまありがとうございます。

皆さまからお預かりした募金は、今年度の市内の地域福祉活動の財源として大切に活用いたします。



ひとつの寄付のかたち

三田和食 花咲

寿司御前を寄付付き商品として協力！
(三田市鈴鹿 54-2)



松栄堂

三田太鼓を寄付付き商品として協力！
(三田市駅前 2-1)

令和3年 大雨災害義援金にご協力ありがとうございました

令和3年7月及び8月の大雨による災害へ市内公共施設設置の募金箱をはじめ、たくさんのご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

期間：令和3年7月19日～令和4年3月31日 募金額：52,681 円 (累計)

🍷 温かい善意ありがとうございました。

(3月1日～3月31日分)【三田市善意銀行】敬称略

日付	金額・物品	預託者名	備考
3.1	5,000円	フラワー地域福祉支援室 善意の箱	
3.2	車いす 1台	有馬高等学校 育友会 生徒会	農業祭バザーの 収益金の一部
3.2	6,496円	けやき台ボランティア 有志	
3.7	10,000円	匿名	
3.12	2,000円	2011.3.11	
3.14	5,000円	放課後デイゆりのき	

日付	金額・物品	預託者名	備考
3.25	紙おむつ	早瀬	
3.28	52,258円	匿名	
3.28	3,000円	中村主水	これは俺の給金から だぜ!
3.28	3円	匿名	
3.31	19円	三田市立 つつじが丘小学校 6年	
3.31	2,129円	総合福祉保健センター 設置の善意の箱	

補聴器相談(予約不要)

月2回 第2・4水曜日に開催

5月11日(水)、25日(水)、6月8日(水)、22日(水)
それぞれ10時～12時
TEL:079-559-5700 FAX:079-559-5704

権利擁護専門相談会

※予約制(前日まで)・1人45分
※関係機関の方も相談できます。

月2回 第1・3木曜日に開催 ※祝日の場合はありません。

6月 2日(木) 13時15分～16時 相談員:弁護士・社会福祉士
5月19日(木)、6月16日(木) 13時15分～16時 相談員:司法書士・社会福祉士
権利擁護・成年後見支援センター TEL:079-550-9004 FAX:079-559-5704

主催:三田市社会福祉協議会 さんだファミリーサポートセンター

さんだファミリーサポートセンター体験保育「ドレミ」

協会員がお子さん一人ひとりに合わせた保育をします。リフレッシュしたい方、入会登録を検討されている方など気軽に参加して、ファミサポを体験してみてください。

とき 5月20日(金) 10時～12時 ところ 総合福祉保健センター 第1・2会議室
対象 【保護者】市内在住、在勤の方 【子ども】6か月から就園前の子ども 定員 4名 利用料 子ども1人につき500円
申込方法 5月13日(金)までに保護者、子どもの名前と年齢、住所、TELを明記し、FAX・Eメールにて下記まで

【問い合わせ先】さんだファミリーサポートセンター TEL:559-8996 FAX:562-8424 Eメール:famisapo@sanda-shakyo.or.jp



Eメール: info@sanda-shakyo.or.jp
ホームページ: http://www.sanda-shakyo.or.jp/
三田市社会福祉協議会が保有している個人情報(当会個人情報保護規程第17条)の管理に無関係に外部に提供することはありません。

主催:三田市社会福祉協議会 多世代交流係(ドレミふぁみりー)

三田市社協子育て支援講座開催!!

子育て奮闘中のお父さんお母さんを地域で支えるしくみです。まずは、講座を受講して自分自身をスキルアップしてから子育て支援をスタートしましょう。※この講座は、子育て支援のサポーターを養成する講座です。

回数	日時	内容	講師
第1回	6月15日(水)	子どもの栄養と発達	イー・ライフ・サポート 黒木真知子さん
第2回	6月24日(金)	子どもの世話	にこ助産院 岡崎智津美さん
第3回	6月28日(火)	安全・事故	三田市消防本部 職員
第4回	7月 6日(水)	小児看護の基礎知識	赤十字幼児安全法指導員
第5回	7月14日(木)	心の発達とその問題	川西子ども家庭センター 三田市家庭児童相談室・チャッピーサポートセンター

第4回講座終了後ファミリーサポートセンター登録会を行います。
全ての講座終了後、夢サポーターの登録会を行います。(夢サポーターは、5講座受講が必須です)

とき 9時45分～12時15分 ところ 三田市多世代交流館 シニア・ユースひろば 多目的フロア
対象 子育て支援に関心のある市内在住の方 受講料 無料 定員 15名(定員を超えた場合は抽選)
一時保育 1歳以上就学前の子ども2名まで(要予約)
申込方法 6月8日(水)までに名前、住所、TEL、一時保育の有無を明記し、FAX・Eメールにて下記まで

【問い合わせ先】多世代交流係 TEL:562-8423 FAX:562-8424 Eメール:tasedai@sanda-shakyo.or.jp



TEL:090-1514 兵庫県三田川除5-5番地 三田市総合福祉保健センター
おかけ間違いにご注意ください。
079-559-5940 FAX:079-559-5704

主催:ボランティアさんだガイド塾

三田のおもしろい昔話

とき 5月10日(火) 13時30分～15時30分 ところ 三田市総合福祉保健センター
内容 三田のおもしろい昔話「三田の地名の由来」…“三田”“三輪”“高次”などの町名の由来についてお話しします。
定員 30名(先着順) 申込方法 5月6日(金)までに下記まで電話でお申し込みください。

【問い合わせ先】ボランティアさんだガイド塾 TEL:090-1079-1903(担当:青江)



さんだ社協だより Good 身近なふくしの情報お届け便 発行回数変更のお知らせ

毎月発行(奇数月4ページ、偶数月8ページ)を奇数月発行(8ページ)に変更となります。



本紙掲載の社協主催イベントや、センター開館時間などについて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となる可能性があります。ご了承ください。また、参加される方はマスクを着用するなど感染予防へのご協力をお願いします。体調の優れない方は決して無理をせず外出を控えることを心がけてください。

